

校長室だより 第三十一号

せおと

岡崎市立常磐小学校
令和三年三月二十三日

校長室の宝物

今年度取り組んだ「ときわマスター」は、総勢一七三名の子が登録できました。五年一組と六年一組の子はほぼ全員がマスターになりました。ほかにも一度申し出た子が、別のマスターになりたいと言ってきたり、マスターのメダルが割れてしまった相談に来てくれたりするなど、ときわマスターを大切に思っていてくれるのが伝わって、うれしいなあと素直に思いました。

新型コロナウイルスの感染が広がって、今年度はいろいろなことが変わりました。そして、大切なことが何かも見えてきました。学校が休校になったときに取り組んだ「休み中ノート」には、一人一人が考えて取り組んだ学習や生活の様子が生き生きと記録されていました。毎日の出来事を記録していくことで、自分を見つめ自分を知るきっかけになります。

そこで、今年度のもう一つの取り組み「朝のひとこと」を始めました。学級の実情に合わせての実践でしたが、ほとんどの学級で、毎朝、前日の出来事やこれからがんばりたいことが、短い文で表現されました。そのすべてが校長室に綴じてとってあります。



卒業おめでとうっす

三月十九日(金)



天候に恵まれ、青空の下、全校児童がそらい、大好きな岩山をバックにお別れ式を行いました。みんなで校歌を歌うことのできる幸せを実感しました。これからもみんなの常磐小学校 であり続けられるよう力を合わせていきましよう。

二年生の子からは「六年生とはなれるのはさみしいけれどがんばります」「校歌をがんばってうたいたい」という声が聞かれました。きっとみんなからのエールが届いたと思います。

そこで一句

いざ行かん開花宣言聞こゆなか

地域の皆様には、これまで卒業生五十五名にいただいたご支援と、本校の教育活動へのご理解ご協力に、厚く感謝申し上げます。ありがとうございます。新年度には三十四名の新入生を迎える予定です。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

マスク生活が当たり前になった二〇二〇年。二〇二一年に入っても、この状況は続いている。けれども、どんなふうにも生活すれば良いかが分かってきて、注意しながら前へ進み始めている。春休みの生活も、手洗い、換気、ソーシャルディスタンス徹底で、元気に過ごしてね。楽しみは新学期に会えること。

